

倉敷市外国人労働者雇用実態調査 調査結果報告書 概要版

日本全体で働く人が減っており、倉敷市でも人手不足が懸念されています。今回の調査に参加した事業所の約半数が、人手不足であると回答しています。この状況乗り越えるために、外国人労働者の雇用も選択肢の1つとなり得ます。この調査では、倉敷市内の事業所が外国人労働者をどのように受け入れているのか、どのような課題があるのかを調べました。

対象：倉敷市内に本社又は営業所等を置く事業所（業種、規模、地区等を考慮して1148事業所をサンプリング）

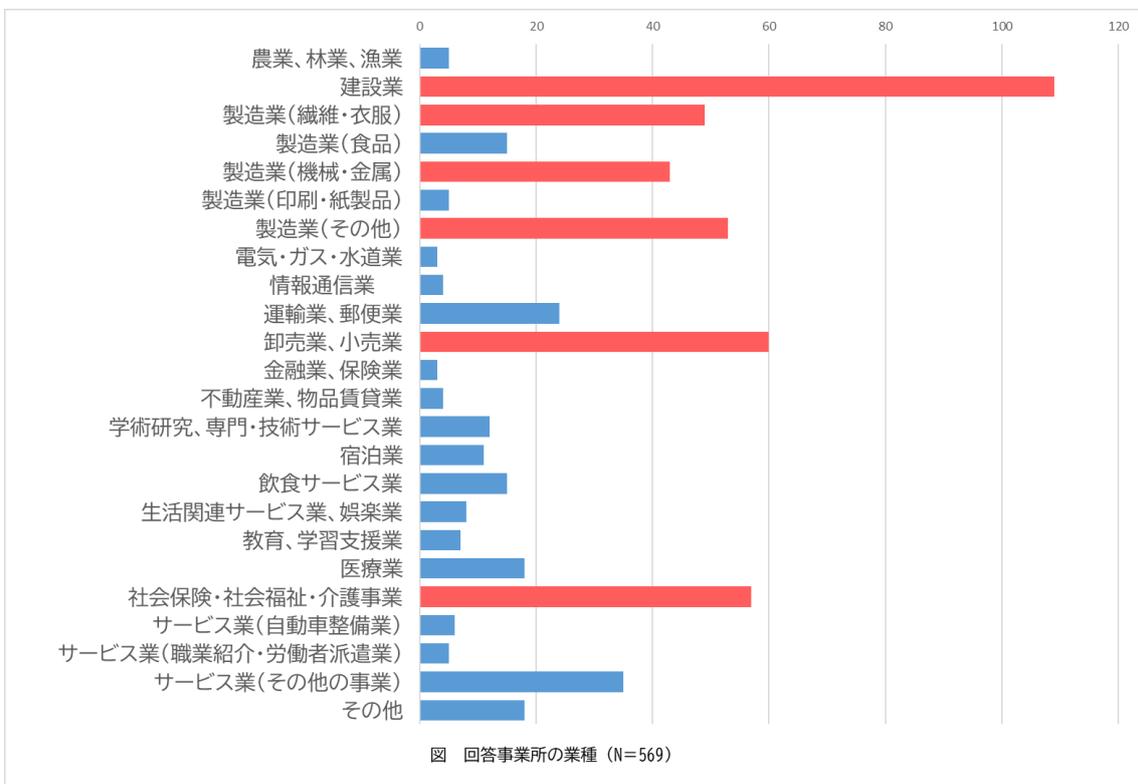
内容：自由記述1問を含む全30問についてアンケート形式（WEBまたは郵送）で実施

期間：2024年11月13日～12月20日

回収率：49.6% 有効回答数569件

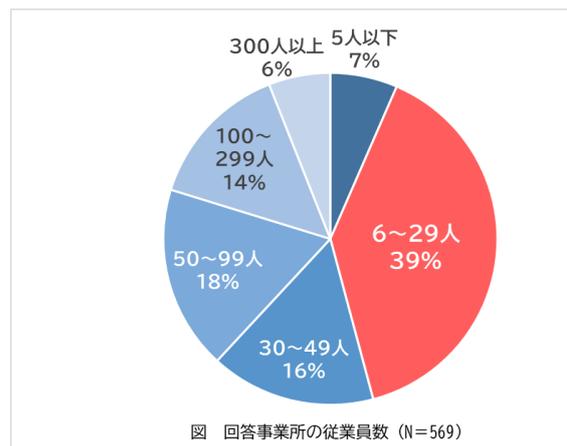
1. 倉敷市で働く外国人労働者の現状

回答した事業所の業種と従業員数をまとめました。



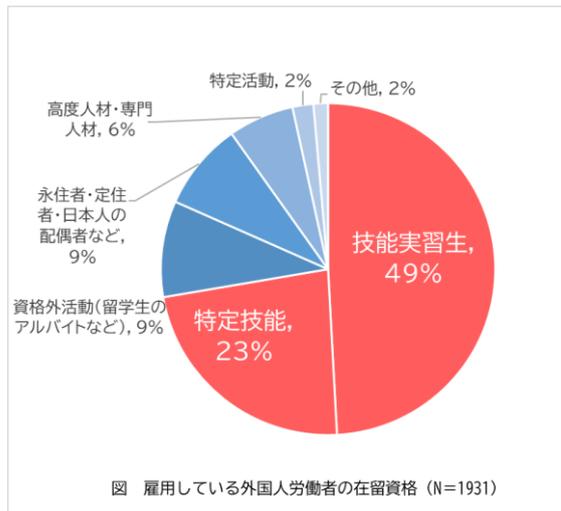
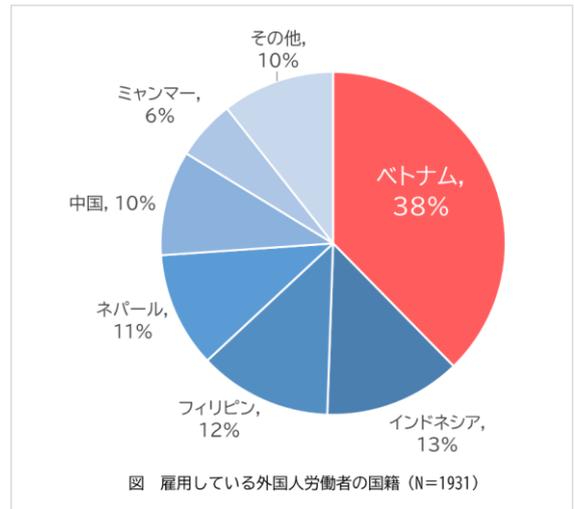
建設業、製造業、卸売業、小売業、社会保険・社会福祉・介護事業など、幅広い業種の事業所から回答を得ました。

回答した事業所の従業員総数（アルバイト・パート従業員も含む）は、5人以下から300人以上までと幅広いですが、30人未満が全体の約半数（46%）を占めています。



回答した事業所の約半数（48％）で、外国人労働者が雇用されています。

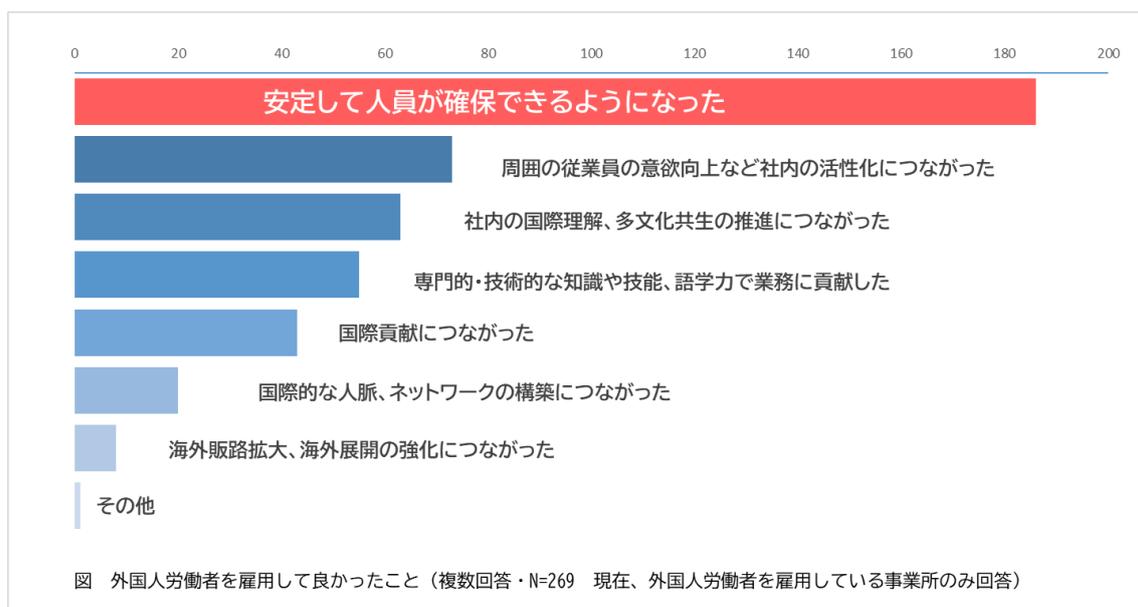
その主な国籍は、「ベトナム」が最も多く4割弱を占めます。以下「インドネシア」「フィリピン」「ネパール」「中国」「ミャンマー」と続きます。



在留資格では「技能実習生」が多いですが、最近ではより専門的なスキルを持つ「特定技能」という資格で働く方も増えています。今後、事業所が雇用を想定している資格も、「特定技能」が6割に達しています。

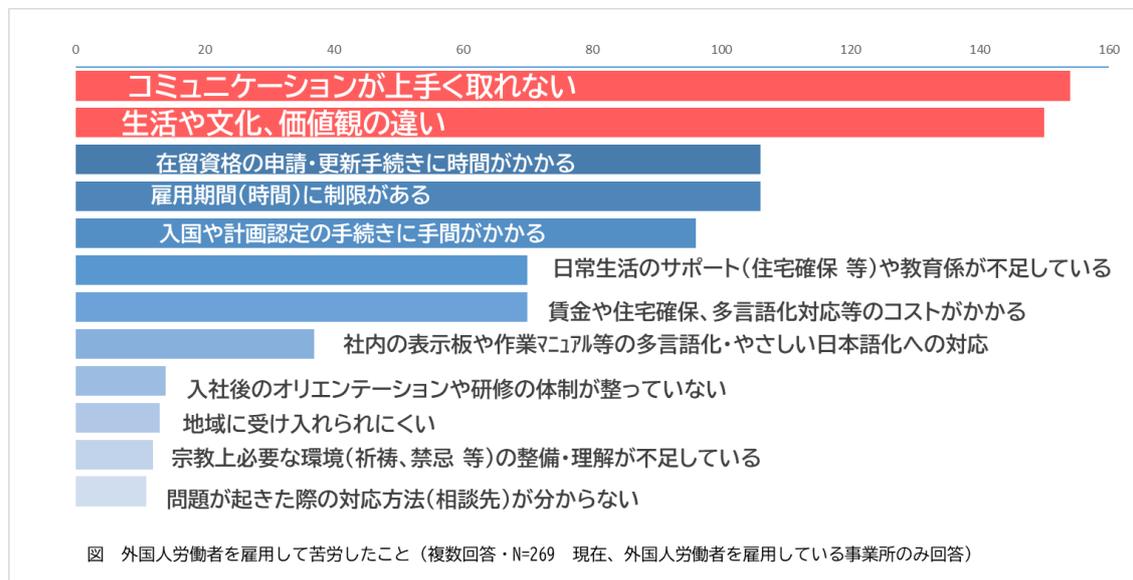
2. 外国人労働者を雇用することのメリット

外国人労働者の雇用によって、人手不足を解消している事業所が多いですが、それだけではなく、社内の活性化、専門知識、語学力での貢献が見られます。国際的な交流を深める良い機会にもなっていることが分かります。



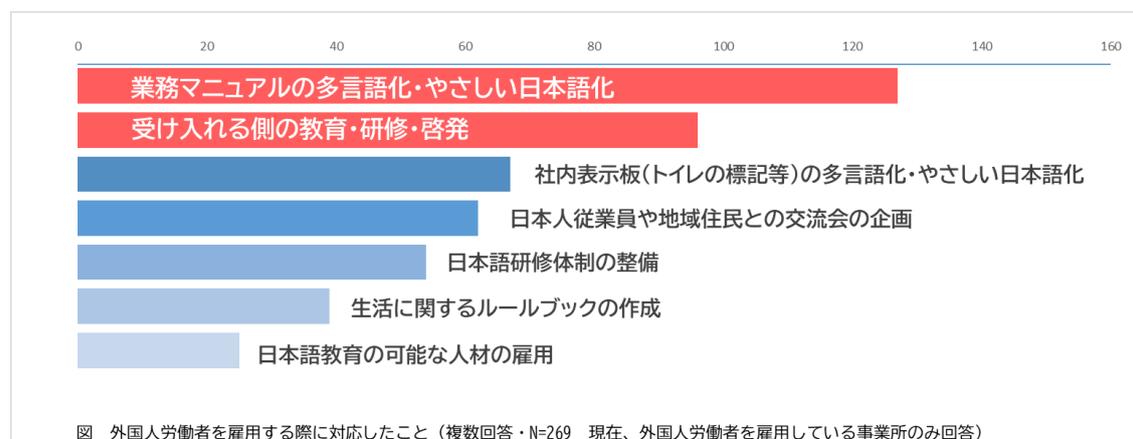
3. 外国人労働者が働く上での課題

外国人労働者を雇用している事業所が課題に感じていることをまとめました。言葉・文化・価値観の違い、手続きの煩雑さ、生活のサポートなど、様々な課題が挙げられています。仕事面・生活面の両面での支援が欠かせないことが分かりました。



4. 外国人労働者のために事業所が工夫していること

それぞれの事業所では、外国人労働者の皆さんが働きやすいように、言葉のサポートや生活の支援など、様々な取り組みが行われています。仕事のマニュアルをやさしい日本語や多言語化することはおよそ半数の事業所で実施されています。日本人従業員や地域住民との交流会の企画や、住居の確保や、役所での手続きを手伝う事業所もあります。



5. より良い共生のために行政に期待すること

外国人労働者の皆さんが倉敷市で安心して暮らし、力を発揮できるよう、行政には様々なサポートが求められています。回答した事業所からは、日本語学習の支援、生活に関する相談窓口や情報提供を期待する声などが挙げられています。